



## 平成29年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月5日

上場取引所 東

上場会社名 マルカキカイ（株）

コード番号 7594 URL <http://www.maruka.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）竹下 敏章

問合せ先責任者 （役職名）取締役兼執行役員管理本部長 （氏名）飯田 邦彦 TEL 06-6450-6823

四半期報告書提出予定日 平成29年10月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年11月期第3四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第3四半期	37,752	8.6	1,236	6.8	1,417	26.8	906	29.7
28年11月期第3四半期	34,751	△8.8	1,158	△29.7	1,117	△40.5	698	△39.1

（注）包括利益 29年11月期第3四半期 1,233百万円（300.0%） 28年11月期第3四半期 308百万円（△82.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第3四半期	105.77	—
28年11月期第3四半期	79.43	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年11月期第3四半期	39,182	19,385	48.0	2,201.67
28年11月期	37,321	18,681	48.6	2,099.67

（参考）自己資本 29年11月期第3四半期 18,804百万円 28年11月期 18,142百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	15.00	—	22.00	37.00
29年11月期	—	17.00	—	—	—
29年11月期（予想）	—	—	—	22.00	39.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	9.0	1,800	8.6	1,970	15.2	1,250	34.4	144.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期3Q	9,327,700株	28年11月期	9,327,700株
② 期末自己株式数	29年11月期3Q	786,881株	28年11月期	686,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期3Q	8,569,291株	28年11月期3Q	8,795,807株

（注）期末自己株式には「役員向け株式給付信託」が保有する当社株式（平成29年11月期第3四半期 110,000株）が含まれております。また、「役員向け株式給付信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の政治動向に対する根強い不透明感が残るものの、好調な企業収益を背景として設備投資意欲は改善基調にあり、雇用所得環境の改善に伴う個人消費の回復傾向などが下支えとなり、全体的には緩やかな回復基調が続きました。

海外では、各国ともに景気回復、持ち直し基調である一方で、トランプ政権の政策運営、北朝鮮情勢の動向、英国のEU離脱問題、中国の不動産バブルや過剰債務問題等の金融市場の動向等、景気の下押し懸念は続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、「マルカグローバルイノベーション 新たな創造 更なる飛躍」を今年度のテーマに、中期経営計画の各種施策に取り組んでおり、足元の受注状況は堅調に積み上がってきております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は37,752百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は1,236百万円（同6.8%増）、経常利益は1,417百万円（同26.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は906百万円（同29.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## [産業機械部門]

国内販売は順調に伸ばしてきた受注が売上転化されたことにより、自動車業界を中心として好調に推移いたしました。商品別では工作機械や鍛圧機械の販売が増加いたしました。

米州は工作機械の販売が自動車業界を中心に好調を維持いたしました。

中国およびアジア地域は、景気減速の影響等により設備投資に慎重な状況が続きましたが、徐々に世界的な景気回復の兆候に伴い当社の受注状況も好転してまいりました。特に苦戦していたタイでは、自動車業界向けに鍛圧機械の販売が伸長し、前年同期を上回る売上となりました。

この結果、当部門の売上高は30,975百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は1,708百万円（同9.5%増）となりました。

## [建設機械部門]

建設機械部門では、第2四半期まで苦戦していた主力販売商品である建設用クレーンの売上が当四半期で伸長し、基礎機械の販売も堅調に推移いたしました。業界別では基礎、土木建築向けが好調でした。営業利益につきましては経費が増加したことにより前年同期比で減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は6,690百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は208百万円（同17.0%減）となりました。

## [その他]

当セグメントは、保険部門の業績を示しております。

当部門の売上高は86百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は30百万円（同222.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は39,182百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,860百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物の増加（前期末比1,230百万円増）によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は19,796百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,156百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務の増加（前期末比2,139百万円増）、短期借入金の増加（同224百万円増）、支払手形及び買掛金の減少（同1,342百万円減）によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は19,385百万円となり、前連結会計年度末と比較して703百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上（906百万円）、剰余金の配当（339百万円）、為替換算調整勘定の増加（181百万円増）によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年1月13日の「平成28年11月期決算短信」において公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	9,285,934	9,595,450
受取手形及び売掛金	13,874,536	12,898,087
電子記録債権	1,325,783	1,789,304
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	2,353,860	2,484,712
仕掛品	304,341	259,375
原材料及び貯蔵品	25,213	24,845
繰延税金資産	260,840	274,092
その他	2,047,874	2,319,985
貸倒引当金	△60,270	△109,526
流動資産合計	29,918,114	30,036,328
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	1,651,536	2,762,043
減価償却累計額	△708,747	△588,454
建物及び構築物 (純額)	942,789	2,173,588
機械装置及び運搬具	444,318	477,978
減価償却累計額	△363,167	△385,360
機械装置及び運搬具 (純額)	81,150	92,617
工具、器具及び備品	334,764	366,702
減価償却累計額	△269,849	△282,281
工具、器具及び備品 (純額)	64,915	84,420
貸与資産	2,627,719	2,760,057
減価償却累計額	△1,633,154	△1,462,690
貸与資産 (純額)	994,565	1,297,366
リース資産	61,079	71,579
減価償却累計額	△41,278	△46,848
リース資産 (純額)	19,800	24,730
土地	2,930,257	3,291,856
建設仮勘定	267,504	673
有形固定資産合計	5,300,983	6,965,254
<b>無形固定資産</b>		
のれん	398,149	370,335
その他	64,268	53,149
無形固定資産合計	462,418	423,485
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,217,910	1,338,872
繰延税金資産	165,770	173,445
その他	321,919	296,111
貸倒引当金	△65,240	△51,406
投資その他の資産合計	1,640,360	1,757,023
固定資産合計	7,403,761	9,145,762
資産合計	37,321,876	39,182,091

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,792,800	9,450,453
電子記録債務	4,272,419	6,411,747
短期借入金	275,259	499,731
1年内返済予定の長期借入金	88,063	50,484
未払法人税等	179,363	251,423
その他	2,102,803	2,210,538
流動負債合計	17,710,709	18,874,379
固定負債		
長期借入金	381,557	332,757
繰延税金負債	101,135	138,660
役員退職慰労引当金	18,716	28,156
退職給付に係る負債	86,827	68,510
再評価に係る繰延税金負債	125,118	125,118
その他	216,416	229,117
固定負債合計	929,771	922,320
負債合計	18,640,480	19,796,700
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,414,415	1,414,415
資本剰余金	1,325,178	1,325,178
利益剰余金	16,028,348	16,595,176
自己株式	△882,099	△1,071,518
株主資本合計	17,885,842	18,263,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	241,183	322,423
繰延ヘッジ損益	△12,034	△2,859
土地再評価差額金	249,072	249,072
為替換算調整勘定	△138,575	42,730
退職給付に係る調整累計額	△82,627	△70,592
その他の包括利益累計額合計	257,019	540,774
非支配株主持分	538,533	581,365
純資産合計	18,681,395	19,385,391
負債純資産合計	37,321,876	39,182,091

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
売上高	34,751,531	37,752,742
売上原価	29,585,914	32,368,435
売上総利益	5,165,616	5,384,307
割賦販売未実現利益戻入額	21,813	19,810
割賦販売未実現利益繰入額	13,598	20,866
差引売上総利益	5,173,830	5,383,252
販売費及び一般管理費	4,015,752	4,146,672
営業利益	1,158,078	1,236,579
営業外収益		
受取利息	37,023	33,679
受取配当金	13,599	14,550
固定資産売却益	51,812	69,241
為替差益	—	6,065
不動産賃貸料	67,025	79,042
雑収入	35,810	37,495
営業外収益合計	205,270	240,075
営業外費用		
支払利息	16,223	18,297
不動産賃貸費用	33,765	30,999
為替差損	194,731	—
雑損失	804	10,174
営業外費用合計	245,524	59,471
経常利益	1,117,824	1,417,184
特別利益		
固定資産売却益	670	5,184
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	670	5,186
特別損失		
固定資産売却損	1,281	4
固定資産除却損	—	22,447
投資有価証券評価損	2,714	4,149
減損損失	—	893
ゴルフ会員権評価損	636	—
特別損失合計	4,632	27,495
税金等調整前四半期純利益	1,113,862	1,394,875
法人税、住民税及び事業税	436,621	488,491
法人税等合計	436,621	488,491
四半期純利益	677,241	906,384
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,389	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	698,630	906,410

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	677,241	906,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75,810	81,212
繰延ヘッジ損益	13,231	9,174
土地再評価差額金	8,911	—
為替換算調整勘定	△325,434	224,822
退職給付に係る調整額	10,258	12,051
その他の包括利益合計	△368,843	327,260
四半期包括利益	308,397	1,233,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380,205	1,190,165
非支配株主に係る四半期包括利益	△71,808	43,479



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	28,651,199	6,025,977	34,677,176	74,354	34,751,531	—	34,751,531
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	28,651,199	6,025,977	34,677,176	74,354	34,751,531	—	34,751,531
セグメント利益	1,560,205	250,758	1,810,963	9,412	1,820,376	△662,297	1,158,078

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△662,297千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	30,975,755	6,690,691	37,666,447	86,295	37,752,742	—	37,752,742
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	30,975,755	6,690,691	37,666,447	86,295	37,752,742	—	37,752,742
セグメント利益	1,708,859	208,211	1,917,071	30,308	1,947,380	△710,800	1,236,579

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△710,800千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。